

ヴァイオリン製造の町ミッテンヴァルトだったろうか、それともリンダーホーフだったろうか。一五年も前のその日の目的地は忘れてしまったが、ドイツ南部アルゴイ地方に住む知人レンツさんの運転でドライブをしていた時のことである。国道の道路標識が目にとまった。逆三角のプレートには、カエルが飛び跳ねている絵が描かれていた。標識の意味を尋ねると、「このあたりの国道では、時折カエルの親子が道路を横断するので、気をつけて徐行運転をするように注意を促しているのですよ」という答えが返ってきた。カエルにやさしい道路なのだ。そこで、「六月も半ばになると日本では雨季になって、田んぼではカエルが歌いだします」と話した。すると、「ドイツではカエルは歌わない。鳴く(クヴァーケン)のです」との返事。そんなにむきにならなくてもよいではないかと思っただけ、その時はそのままにしておいた。

それから一年ほどして、たまたま出かけたデパートで、なにやらカエルが指揮棒を振って歌っている絵の描かれたカップを発見した。これはいい。早速買い求め、次にドイツにでかけた折にそれをタオルにくるんで持っていき、レンツさんにお贈りした。「そうか、日本ではカエルは歌うのか」。ようやく納得し、大変喜んでくださった。

その後は機会あるごとに、けろつび・グッツがインド洋を航海してドイツに運ばれることになった。けろつびのハイキングシート、アルバム、スプーン、ノート、ハンカチ等。これ以上お贈りする、ひんしゆくを買うであろう。「あなたから一七〇通の手紙をもらっていますよ」。昨年三月にお訪ねしたときレンツさんは言われた。せつかくのレンツ博士との交流なのに、学問的な内容よりもカエルの話題が多かったな、と感じたのであった。

## Parlandoのあゆみ

ばるらんど

その9

## In my Library

## こんなの見つけた ③

(承前。) 授業やレッスンのために使う資料とは少し違った視点から、図書館の資料を紹介するシリーズです。

- 25 ダルシマー世界めぐり (220)  
打弦楽器の映像資料。
- 26 『回想の小野アンナ：日本のヴァイオリニストを育てて半世紀』小野アンナ記念会編 音楽之友社 (225)
- 27 『伊福部昭 タブカーラの彼方へ』木部与巴仁著 ボイジャー (230)
- 28 平均律がすべて? (231)  
『響きの考古学：音律の世界史』藤枝守著 音楽之友社。
- 29 昭和の音楽—作曲家の光と闇 (236)  
『昭和の作曲家たち：太平洋戦争と音楽』秋山邦晴著 みすず書房。
- 30 自作自唱のたのしみ (238)  
平井康三郎 『自ら歌う「日本の笛」「酒の歌」』音楽之友社のCD。
- 31 Dies irae (243)  
レクイエムの参考図書『Dies irae : a guid to requiem music』Chase, Robert. Scarecrow Press, 2003。
- 32 児童書!? マンガ!? 絵本!? 読書が苦手なあなたが、いまさら聞けない音楽基礎知識をひと晩で… 番外編検索ヒント付き (244)  
児童書やマンガ、絵本の活用法とOPACでの検索方法。
- 33 あなたは誰と同じ誕生日? (250)  
『クラシック音楽歳時記・366日の音楽史』千歳八郎著と『私家版クラシック名曲365日+1日』浦口達也著。
- 34 冥王星騒動 (252)  
ホルスト《惑星》に追加を試みたマッシューズ《冥王星》の楽譜とCD。
- 35 スティング/ラビリンズ : Music by John Dowland (253)  
スティングのCD『Song from the Labyrinth』とスティング関連図書。
- 36 ブルー・アイランド氏のなワールドへようこそ (255)  
青島広志著作図書。

\* かつこ内は掲載された号数です。

\* 現在の資料検索方法とは合致しない内容が一部含まれています。

\* 記事掲載時と現在の請求記号が違っている資料についての紹介が一部含まれています。記事を参照して資料請求する際は、再度OPACで確認してください。

\* 記事の内容を読みたい場合は、『ばるらんど』の請求記号P1154と希望の号数を書いて、図書館カウンターで請求してください。